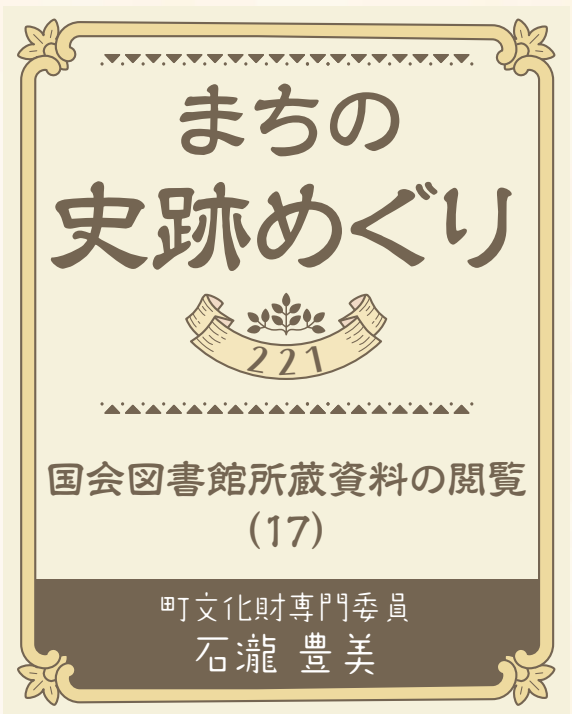




国立国会図書館デジタルコレクションの検索を続けま
す。今回は「日本登録商標大
全」という書名で、「須恵村」と
いう語句を含むものを検索し、
23件がヒットしました。た
だ、内容が同じだったり、山口
県の厚狭郡須恵村が含まれて
いたり、「広報すえ」令和5年
5月号(連載、第207回)で
紹介済みのものもありました。
今回取り上げるのは新しい情
報です。

図①は「日本登録商標大全」
上巻(東京書院、1905〔明
治38〕年)掲載分ですが、第

207回で取り上げた際に
漏れていました。「ヒヨウタ
ン型にくびれた米俵の図」で、
1890(明治23)年11月登録。
登録者は上須恵・由原弥三。弥
三氏については前回取り上げ
ています。その時引用した図
⑩の中央TRADEとMARK
Kの文字に挟まれてこの米俵
の図が描かれていました。

次も田原弥三(図②)。矢羽
の付いた棒4本が井の字型に
組まれ、中央に三の文字。井
の字は「田」を図案化し、矢羽
は名の上の文字「弥」を連想さ
せます。三は名の下の文字

「三」を意味しているのでは
う。なかなかひねりが利いて
います。
品名は「煉薬」。登録は19
03(明治36)年1月。図①と
図②とで弥三氏の番地が異
なっています。
図③～⑤は上須恵・安河内
藤吉の「清酒」の商標。いずれ
も「日本登録商標大全」下巻
(東京書院、1905〔明治38〕
年)掲載。「有明の松」「国開」
は1903(明治36)年11月、
「須恵の松」は1904(明治
37)年1月の登録。清酒醤油
商標いろは索引(特許商標月
報社、1917〔大正6〕年)か
ら「国開」は「くくかい」と読む
ようです。「須恵の松」は須恵
町の代表的な清酒でした。

図⑥は須恵・吉松繁吉。対象
となる商品は「薬剤及本類ニ
属スル商品一切」。1915
(大正4)年11月登録。四角い
枠の中に山形と扇形があり、
そこに矢羽が2本並んでいる
という図案です。
掲載はいずれも「日本登録
商標大全」第8輯・上(東京書
院、1916〔大正5〕年)。第
8輯に掲載分はすべて横文字
の表記が付いています。
なお、有村重太郎編「福岡
県内小学生徒美談」(磊落堂、

1894〔明治27〕年)に次の
ような話がありました。その
ころ「子弟の文字を知るは其
家、破産の基なり」というこ
とわざがあったぐらいで、子
弟を教育する熱意がまだ乏し
かった時代です。実際、児童
の就学率を上げるのが行政の
課題でした。

上須恵の次平という人物は
上座郡(後に、朝倉郡の一部)
の人でしたが、眼病の治療の
ために19年前に上須恵に移住
したのでした。貧しい生活の
中で子どもは幼くして次々に
亡くなり、男女二人の子だけ
が成長しました(15歳の男子
と12歳の女子)。次平は貧し
いながら工夫して子どもを学
校に通わせ、12歳の女子は尋
常小学を卒業して今は裁縫を
学んでいて、15歳の男子は大
川高等小学校の4年に在籍し
て、翌年春の卒業を控えてい
ました。ところが学費が続か
ず、退学せざるを得ない状況
に陥りました。この時、上須
恵の田原養朴・安河内藤吉・田
原精一・田原弥三の4人が同
情して援助し、無事に卒業に
こぎつけたのでした。教育熱
心な父、援助した4人の話を

月登録。登録者は上須恵・村山
直次郎。
図⑦は人物像で、対象商品
は「膏薬・水薬・散薬」、1905
(明治38)年9月登録。登録者
は上須恵・田原安宅。
図⑧も田原弥三。商品は
「煉薬」、商品名は「正明膏」。
1915(大正4)年7月登録。
「正明膏」は目薬で、博多の奥
村玉蘭が著した「筑前名所図
会」に、「此須恵村は山里の片
田舎なれども、正明膏あるが
ゆへに都会の地のごとく繁昌
せり」と言われたほど、江戸時
代の須恵村・上須恵村を代表
する有力商品になっていまし
た。

美談として描いたものと言
えます。田原養朴は田原眼科
の当主、田原精一は初代須恵
村長です。右記の通り、安河
内藤吉は酒造業、田原弥三は
製菓業。地域の有力者が話し
合って私財を抛出し、貧しい
生徒の学資を援助したのでし
た。なお磊落堂は博多中島町
(中洲)にあった出版社です。

なむのでしょうか。

図⑨は田原弥三「快
脳」(薬剤)。登録は
1921(大正10)年11
月。『日本登録商標大
全』第18輯・上(東京書
院、1924〔大正13〕
年)。この場合は文字の
デザインを登録したの
でしょう。「快脳」は今で
もサプリメントの名前
になりそうですが、いっ
たいどんな効能があっ
たのでしょうか。「快脳
丸」という薬は以前から
あったようで、山口県
の熊野天真堂の広告に
は「のぼせを引き下げ、
神経を鎮む。脳病全治
快脳丸」というキャッチ
フレーズがありました
(『九州薬業家列伝』九州
薬報社、1904〔明治
37〕年)。

